工　事　情　報　【　浅　間　山　】

令和8年10月末　現在

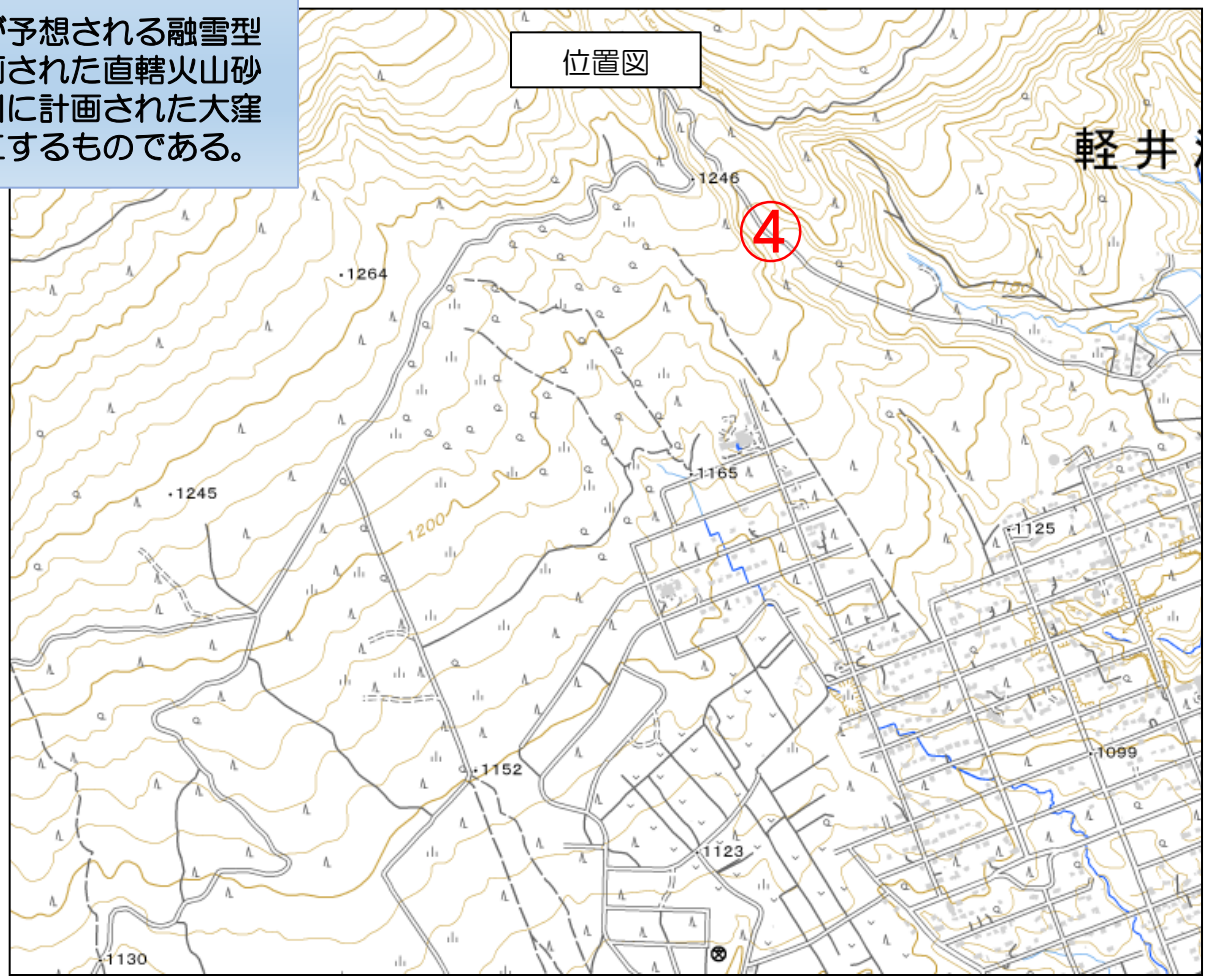
工事名　R8大窪沢川砂防堰堤工事（おおくぼさわかわさぼうえんていこうじ）

工　期　令和8年6月4日～令和8年12月25日

受注者　株式会社新津組

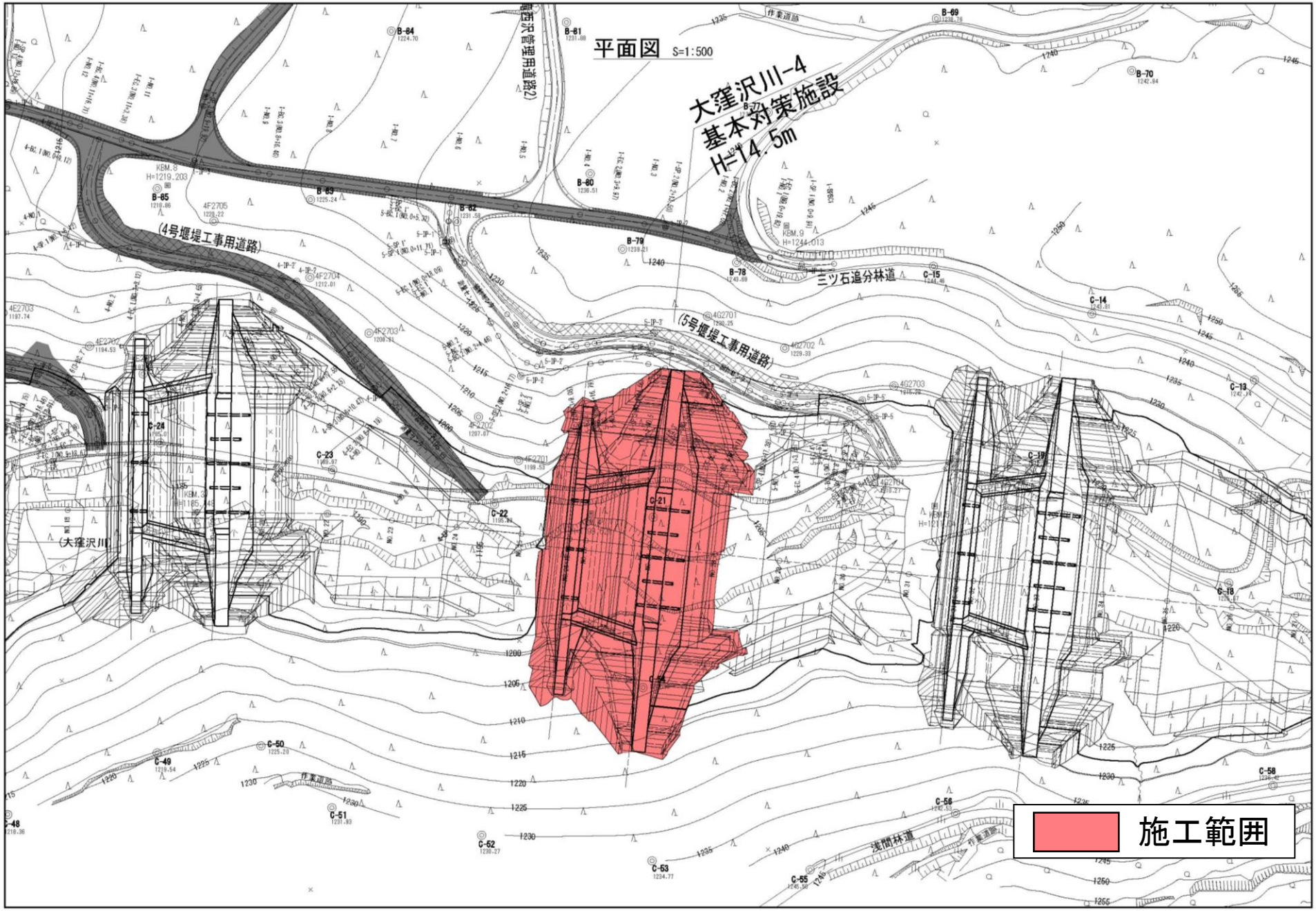
工事場所　長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉地先

工事目的　浅間山の火山活動に伴い発生が予想される融雪型火山泥流を軽減するために計画された直轄火山砂防事業で、浅間南山麓大窪沢川に計画された大窪沢川第四砂防堰堤の一部を施工するものである。



出典：国土地理院発行2.5万分1地形図
地理院タイルに工事位置を追記して掲載

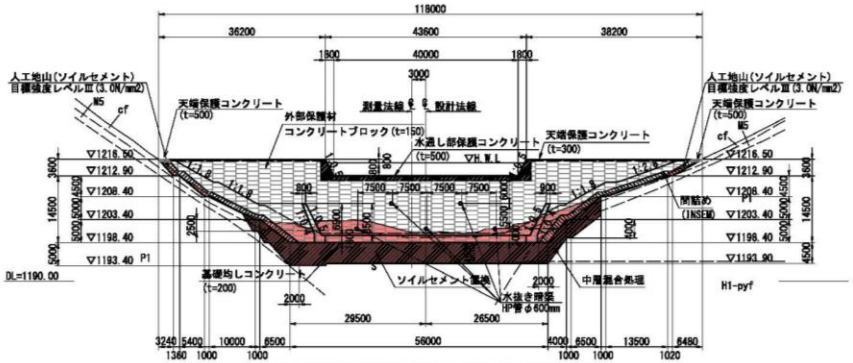
工 事 情 報 【 浅 間 山 】


平面図 S=1:500
大窪沢川-4
基本対策施設
H=14.5m
(4号堰堤工事用道路)
(5号堰堤工事用道路)
三ツ石追分林道
浅間林道
(大窪沢川)
作業道路
施工範囲

工 事 情 報 【 浅 間 山 】

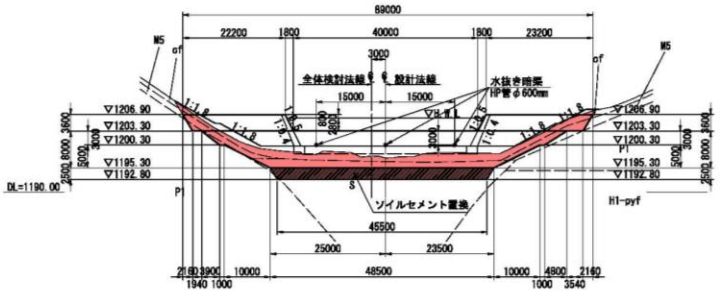
一般構造図 S=1:500

本堤正面図
No. 27
GH=1200.58

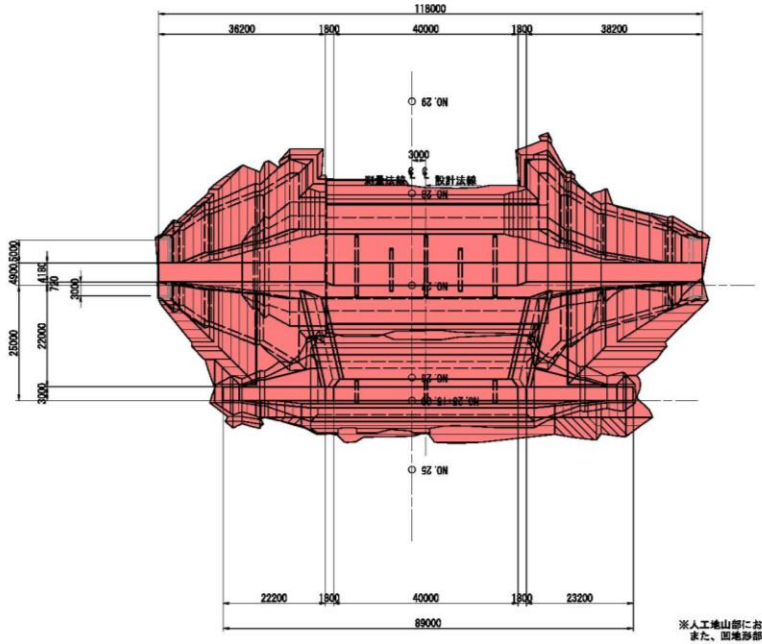


※人工地山部においては必要に応じて表土を掘削し、厚さ2.0m以上を確保すること。
また、凹地形部においては2.0m以上の厚さとし、地山部にはり付ける構造とすること。
※中層混合処理範囲については改良必要範囲を示している。

副堤正面図
NO. 25+15.00
GH=1197.90



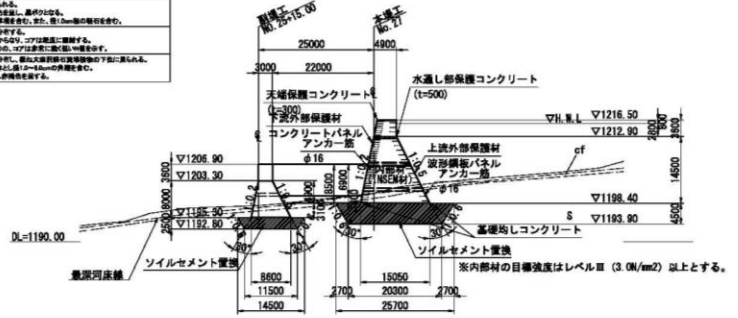
平 面 図



地盤構成表

地質時代	年代	模式時期	地質区分	地質記号	特徴
第四紀	新期～前期(1.5万年～)	現世	表土	cf	植物層の表層に見られる。 褐黒色を呈する。多量量の水酒・草酒を含む。 値1.0～3.0の部分を多く含む。
		前鉢山期	崖錐堆積物	dt	地域一帯に見られる。 斜面地形において生成され、斜面一帯法にかけて分布する。 不均質なゆからなり、水酒能で低い値を示す。
			降下火砕物堆積物	MS	本地域北の一部の表層に見られる。 不均質な火山灰質の堆積。主にローム人からなり、褐黒を含む。 多量に粘質となる。粘分判に粘石質となる。
		前鉢山期～粘土期	堆積岩類 砂質部	S	本地域の表層の上部に分布する。 火山性の細砂～粗砂を主体とし、粘分判に火山礫を含む。
			堆積岩類 礫部	G	本地域の表層の下部に分布する。 礫と二次とする。基質は細砂からなり、本調査である。
			高ボク及び火山灰質粘土	Kb	本地域の一部に見られる。 有機質で暗茶～褐色を呈し、高ボクとなる。 中含水に本調査の本値を含む。また、径1.0m程の転石を含む。
		前鉢山期～粘土期	大窪沢砂石流堆積物	P1	本地域の大部分に分布する。 褐色～灰褐の転石からなり、コアは高度に固結する。 転石を含まない石のの、コアは多元に強く低い値を示す。
			仏岩火砕流	H1-pyf	本地域の大部分に分布し、前山大窪沢期火質堆積物の下位に見られる。 火山性の中部を主体とし径1.0～4.0cmの本酒を含む。 粘分判に高強度レ上値特色を呈する。

断 面 図



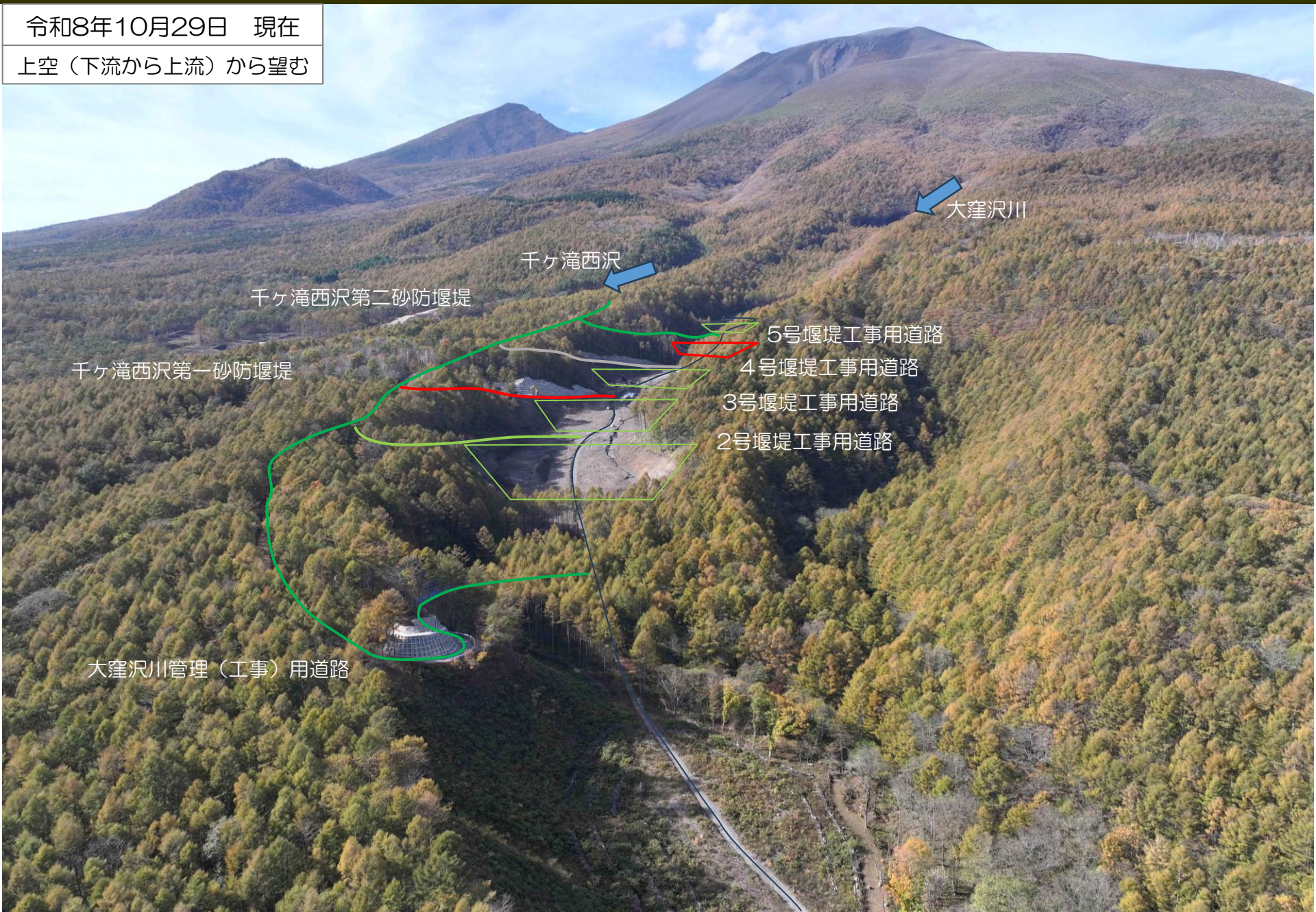
施工範囲

※人工地山部においては必要に応じて表土を掘削し、厚さ2.0m以上を確保しすること。
また、凹地形部においては2.0m以上の厚さとし、地山部にはり付ける構造とすること。

工　事　報　告　【　浅　間　山　】

令和8年10月29日　現在

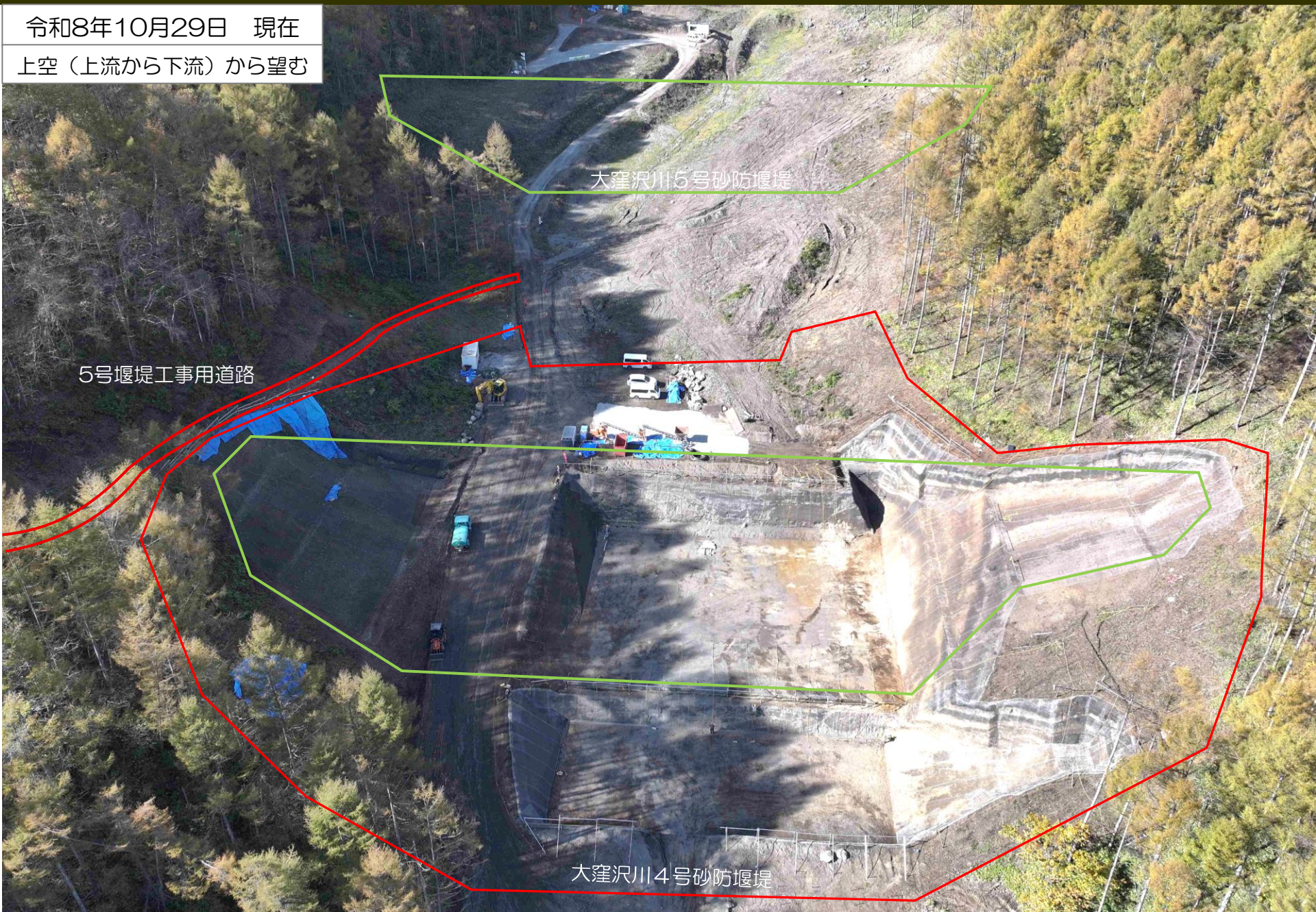
上空（下流から上流）から望む



工　事　報　告　【　浅　間　山　】

令和8年10月29日　現在

上空（上流から下流）から望む



工　事　報　告　【　浅　間　山　】

令和8年10月29日　現在

３号堰堤工事用道路

